

看護学講座 コミュニティ看護学

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	長谷川 美香	1999. 4. 1～
教授	四谷 淳子	2016. 4. 1～
准教授	北出 順子	2008. 4. 1～
准教授	川口 めぐみ	2009. 4. 1～
助教	夏梅 るい子	2014. 4. 1～
講師	平井 孝治	2017. 4. 1～
講師	青木 未来	2019. 4. 1～
助教	岡本 智子	2020. 4. 1～

2. 研究概要

研究概要

コミュニティ看護学分野は、地域看護学・老年看護学・精神看護学の3領域から構成されている。

地域看護学では、地域で生活する人々および健康課題を持つ人々の心身の健康の維持・向上への支援に貢献できる看護学研究を目指している。前年度からの研究テーマを継続し、次のような研究活動を行っている。

1. バングラデシュ国 パイガサ地域の水・保健環境改善プロジェクト

本学工学部、愛知医科大学、広島工業大学、AOSED (An Organization for Socio-Economic Development, Bangladesh) との協働により、バングラデシュの安全な水の確保と住民の健康改善に重点置いたフィールドワーク研究と国際協力を推進した。

2. 大学生のデートDV予防、DV相談支援体制の強化

親密な関係にある若者間のデートDV予防教育プログラムの開発及び、プログラム評価に用いるデートDVに関する態度を測定する日本語版尺度を開発した。これらの尺度を用い、大学生を対象としたデートDV予防教育プログラムの有用性を検証した

3. 低出生体重児の母親に関する研究

低出生体重児の母親の育児不安軽減のための育児支援構築を目的に、母親の育児不安の特徴の明確化に取り組んでいる。

4. 若年性認知症に関する研究

若年性認知症者の就労継続のための支援策構築を目的に、若年性認知症者の就労継続困難の実態と問題の明確化に取り組んでいる。

5. 退職後の団塊世代男性を対象とした介護予防の担い手養成プログラムの開発

シルバー人材センターに所属する団塊世代を中心とした退職後高齢者の社会参加と主体的健康づくりに関して、住民参加型アクションリサーチを用いて参加者の主体性や健康意識に対し経年的な変化を追跡している。

6. 健康づくり活動における地域住民と保健師の協働関係の解明

地域住民と保健師との協働関係に関して、現代のみならず戦前期に遡り記述化に取り組んでいる。具体的には、健康づくりを題材にした戦前・戦中期における保健師機能の明確化、および福井県美浜町と共に健康づくり活動の企画・推進・評価を行っている。

老年看護学では、高齢者が健やかに生活・療養できる環境の整備のために、工学系分野と連携するなど新しい技術を取り入れながら研究を進めている。

1. 寝たきり高齢者の褥瘡およびスキントアを予防するシーツの開発

スキントア（外傷性創傷）は、高齢者の脆弱化した皮膚に些細な摩擦やずれを起こすことによって発生するといわれている。そこで、シーツやリネンの素材も発生リスクになると考え、これまでの褥瘡研究の成果をもとに、褥瘡だけでなくスキントアを予防するシーツやリネンの開発を地元福井の企業と取り組んでいる。

2. ウレタンフォームマットレスのへたりと褥瘡発生の関係

褥瘡予防用マットレスであるウレタンフォームの劣化が体圧に影響すると言われており、日本褥瘡学会のガイドラインにおいてもマットレスの劣化の確認が推奨されている。これまでの調査において、臀部のへたりがもっとも大きく、ベッドの頭側挙上時に体圧が最も高いこと、へたりに応じて体圧値が上昇する傾向であったことを報告してきた。しかし、マットレスのへたりと褥瘡発生の関係について調査したものはなく、へたりがどれくらいになれば、褥瘡発生に影響するのかは不明である。そのため、マットレスを交換するタイミングに苦慮しているのが現状である。そこで、本研究ではウレタンフォームマットレスのへたり状況と褥瘡発生の関係を検証する。

3. 超音波画像（エコー）を用いた褥瘡の肉芽組織の客観的評価方法の確立と自動判別システムの構築

褥瘡の肉芽組織の評価は、創面を占める良性肉芽の割合で点数化されている。肉芽が良性か不良かの判断は主観的なもので、評価者により評価が異なることがある。そこで本研究では、褥瘡の肉芽組織の病理組織所見、肉眼的所見と触診の所見、超音波診断検査の所見を統合し、エコーによる肉芽組織の客観的評価方法を確立し、自動判別システムを構築することを目指す。

4. ドライスキンおよびスキントアを予防・改善するためのアセスメント・ケア方法の開発

高齢者の大きな健康問題に、ドライスキンとスキントアがある。ドライスキンによって生じるかゆみや発赤、スキントアによる創痛や感染の危険の持続・悪化は高齢者のQOLを著しく脅かす。このドライスキン、スキントアの改善のために、看護師は保湿剤を用いたスキントアを行っている。しかし、臨床現場では改善しきれていない高齢者のドライスキンがみられるのが現状である。加齢により脆弱になった高齢者の皮膚に最善のケアを施すために、基礎研究ならびに臨床研究に取り組んでいる。

精神看護学では、心の病をもつ方やその家族の健康増進、家族のもつ力の向上に関する研究に取り組んでいる。主要な研究テーマとして、次のような研究活動を行っている。

1. まず、統合失調症をもつ方の負担軽減とレジリエンスを高めることを目的とした看護支援プログラム介入の効果を唾液ストレスセンサの変化に着目して検証している。また、地域高齢性住民の認知機能に関連する要因を分析し、認知症予防のための支援を検討している。加えて、児童・青年期の子どもが示す神経発達症・食行動異

キーワード
看護、国際協力、低出生体重児、保健師活動の歴史、シルバー人材センター、豪雨災害、体圧分散、保湿ケア、統合失調症、神経発達症、摂食障害

業績年の進捗状況

特色等

【地域看護学】

主として保健師教育課程科目を担当している。学部教育では、ふくい看護論Ⅰ、ふくい看護論Ⅱ、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護展開論Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生看護管理論、産業保健論、学校保健論、国際保健論、在宅看護論、公衆衛生看護学実習（県・市町村実習）、在宅看護学実習、地域ケア実習、および基礎専門科目である健康科学論等を担当している。また、卒業研究では、在宅看護、公衆衛生看護に関するテーマでの論文作成を指導している。

大学院教育では、地域看護学特論、地域看護学演習、地域看護学特別研究等の専門科目、及び共通科目である看護倫理、看護研究、災害看護専門看護師教育課程科目である災害看護学特論Ⅲ、がん看護学特論Ⅱ、がん看護学特論Ⅴの一部を担当し、老年看護専門看護師教育課程科目である老年看護学特論Ⅲ、老年看護学特論Ⅳの一部と老年看護学特論Ⅴを担当している。

研究においては科学研究費補助金、JICA事業予算を獲得し、バングラデシュ、福井県および県内の市町村と協力し研究を推進している。国際支援機関、地方自治体等と協働した研究を行うことにより、より具体的に当該国・自治体の健康づくりの施策化、および人材育成に貢献している。また、福井県の課題である在宅医療推進に向け、県内の医療機関と連携し活動を展開している。これらの成果は国内外の学会で発表し、研究成果を教育に還元している。

【環境科学】

地球温暖化に伴い、毎年甚大化する豪雨災害対策として、新型コロナウイルス感染症流行時では、避難所だけでなく在宅避難も検討する必要性が高くなっている。本研究は、地区住民の弱者を支援する立場にある社会福祉協議会会員の在宅避難時における要望を、福井豪雨災害の被災の有無と比較し、被災地区では給水場のみならず男女別トイレの要望も高いことを見出した点が特色である。

【老年看護学】

学部教育では、老年看護学概論、老年看護活動論、ライフサイクル論、ふくい看護論Ⅰ、ふくい看護論Ⅱ、老年看護学実習を担当している。卒業研究では、老年看護に関するテーマでの論文作成を指導している。

大学院教育では、老年看護学特論、老年看護学演習、老年看護学特別研究等の専門科目、および共通科目である看護研究を担当している。また、2019年4月から老年看護専門看護師教育課程を開講し、複雑で多様な健康問題をもつ高齢者とその家族が尊厳のある質の高い生活を送れるよう、多角的なアセスメント能力、QOL向上に向けた卓越した高度な看護実践能力をもつ人材の育成に貢献している。本課程において老年看護学特論Ⅰ～Ⅴ、老年看護学演習Ⅰ・Ⅱ、老年看護学実習Ⅰ～Ⅲを担当している。

研究においては、高齢者のQOL向上を目標に褥瘡や排泄ケア等の老年症候群について予測、予防のための新たな看護方法論の創出に向け取り組んでいる。看護学だけでは解決できないと思われる課題を、工学系分野と連携し新しい技術を取り入れた手法を用いて解決を試みている。

【精神看護学】

学部教育では、メンタルヘルス看護実践方法論、ライフサイクル論ⅡⅢ、ふくい看護論Ⅲ、看護実践総合演習、精神看護学実習を担当している。また、卒業研究では、精神疾患をもつ方の再発予防および地域生活定着のための支援、精神疾患をもつ人の家族に関するテーマでの論文作成を指導している。

研究においては、精神疾患をもつ人の再発予防や地域生活継続に向けた支援、精神疾患をもつ人の家族支援をテーマに研究に取り組んでいる。特に、精神疾患をもつ人とその家族の困難からの回復力に着目し、その力を高めるための看護支援プログラムの構築に努めている。

本学の理念との関係

本学の中期計画である【2】地域の教育研究拠点としての機能を強化するため、教育・医療・産業界等との協力関係を戦略的に強化し、地域の教育力向上、健康を守る地域医療の向上を積極的に推進し、地域・社会の持続的発展に貢献するという点を考慮し、研究、教育、地域貢献を行っている。

【地域看護学】

研究では、「大学生のデータDV予防教育プログラムの開発に関する研究」（基盤研究（C））、「退職後の団塊世代男性を対象とした介護予防の担い手養成プログラムの開発」（基盤研究（C））、「住民と国保保健婦が協働した戦後健康づくり活動の過程と展開に関する歴史社会学的研究」（基盤研究（C））、「バングラデシュ国 バイガサ地域の水・保健環境改善プロジェクト」（JICA草の根協力事業）、低出生体重児の母親に関する研究等を行っている。

これらの教育・研究は、国外、県内地方自治体等と協働し、地域特性を鑑みたまものである。特に学部教育では、実際に地域に出向き、住民と接することで地域の健康課題を見出す演習を設けるなど、地域により密着した教育を行っている。本学の中期目標にある『地域・社会へ貢献する実践的な研究を推進する』をまさに実践中である。

地域貢献としては、福井県、県内の市町村の各種委員会委員および委員長、専門職業人、地域住民を対象とした研修会講師、DV被害を受けた女性の自助グループの活動支援等に携わっている。

【環境科学】

地球温暖化に伴い、毎年甚大化する豪雨災害対策として、新型コロナウイルス感染症流行時では、避難所だけでなく在宅避難も検討する必要性が高くなっている。本研究は、地区住民の弱者を支援する立場にある社会福祉協議会会員の在宅避難時における要望を、福井豪雨災害の被災の有無と比較し、被災地区では給水場のみならず男女別トイレの要望も高いことを見出した点が特色である。

【老年看護学】

高齢者のQOL向上を目標に褥瘡や排泄ケア等の老年症候群について予測、予防のための新たな看護方法論の創出に向けた老年看護学の研究に取り組んでいる。看護学だけでは解決できないと思われる課題を、工学系分野と連携し新しい技術を取り入れた手法を用いて解決を試みている。

【精神看護学】

精神障害者に対する医療・福祉分野の連携強化を図るため、本学に所属する医療・福祉系各専攻・学部の学生・教員が連携して、精神障害者の生活支援に関する研究・教育を行っている。

3. 研究実績

区分		編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
		2017～2022年分	2023年分	2017～2022年分	2023年分
和文原著論文	ファーストオーサー	15	5	—	—
	コメンティンガー	3	1	5.093(5.093)	1.5(1.5)
英文論文	コメンティンガー	2	1	3.405(3.405)	1.5(1.5)
	その他	10	3	30.427(30.427)	7.3(7.3)
	合計	13	4	35.52(35.52)	8.8(8.8)

(A) 著書・論文等**(1) 英文：著書等****a. 著書****b. 著書（分担執筆）****c. 編集・編集・監修****(2) 英文：論文等****a. 原著論文（審査有）****23037**

Noriyoshi Usui, Miyuki Doi, Stefano Berto, Kiwamu Matsuoka, Rio Ishida, Koichiro Irie, Nanako Nakama, Hana Miyauchi, Yuuki Fujiwara, Takahira Yamauchi, Takaharu Hirai, Michihiro Toritsuka, Min-Jue Xie, Yoshinori Kayashima, Naoko Umeda, Keiko Iwata, Kazuki Okumura, Taeko Harada, Takeshi Yoshimura, Taiichi Katayama, Masatsugu Tsujii, Hideo Matsuzaki, Manabu Makinodan, Shoichi Shimada: Copper-deficiency is associated with impairments in social behavior and oligodendrocyte development via mTOR signaling pathway, medRxiv, 20231218, DOI: doi.org/10.1101/2023.12.16.23300061

23038

Tsunetoshi C, Tsunetoshi K, Komori O, Higashino Y, Isozaki M, Arai Y, Arai H, Yamada S, Arishima H, Hasegawa M, Kikuta K: Factors affecting reasonable duration of continuous electrocardiographic monitoring to detect atrial fibrillation in acute ischemic stroke, J Stroke Cerebrovasc Dis, 32(8), 107173, 202308, DOI: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2023.107173, #2.5

23039

Miku Aoki, Natsuki Hata, Junko Yotsuya: Effectiveness of Three Types of Moisturizers on Senile Dry Skin: A Randomized Controlled Pilot Trial, Dermatology Research and Practice, 2023, 1809109, 20230720, DOI: 10.1155/2023/1809109, #1.5

23040

Tobe M, Nobukawa S, Mizukami K, Kawaguchi M, Higashima M, Tanaka Y, Yamanishi T, Takahashi T.: Hub structure in functional network of EEG signals supporting high cognitive functions in older individuals, Frontiers in Aging Neuroscience, 15, 1130428, 20230417, DOI: 10.3389/fnagi.2023.1130428, #4.8

b. 原著論文（審査無）**c. 原著論文（総説）****d. その他研究等実績（報告書を含む）****e. 国際会議論文****(3) 和文：著書等****a. 著書****b. 著書（分担執筆）****23041**

一般社団法人 日本褥瘡学会：褥瘡ガイドブック第3版：褥瘡予防・管理ガイドライン（第5版）準拠，照林社，20230602，978-4-796-52590-9

23042

編集 真田弘美、正木治恵 分担 四谷淳子：老年看護技術：最後までその人らしく生きることを支援する，南江堂，202303，978-4-524-22711-2

c. 編集・編集・監修**(4) 和文：論文等****a. 原著論文（審査有）****23043**

長谷川美香、北出順子、夏梅るい子、山本英子、幸光里美、中西悠、繁田祐果、山口友加里、柏谷美有紀：行政保健師の事業化技術を学ぶ—行政・国保連合会・大学の協働による保健師教育—，第63回全国国保地域医療学会特集号，697-700，20240318

23044

新山真奈美、夏梅るい子：メイクボランティアによる認知症のある高齢者へのメイクの効果の検討，認知症ケア事例ジャーナル，16(1)，15-19，202306

23045

端千づる、村田美穂、堀拓也、畑菜都希、岡本智子、青木未来、四谷淳子：グループホームの食支援に対する介護職員の思いと行動の変化～ミューチュアルアクションリサーチの手法を用いた取り組み～，日本摂食嚥下リハビリテーション学会誌，(1)，61-68，202304，DOI: 10.32136/jsdr.27.1_61

23046

端千づる、村田美穂、堀拓也、畑菜都希、岡本智子、青木未来、四谷淳子：グループホームの食支援に対する介護職員の思いと行動の変化～ミューチュアルアクションリサーチの手法を用いた取り組み，日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌，27(1)，61-68，202304，DOI: 10.32136/jsdr.27.1_61

23047 大久保貢、四谷淳子、中切正人、田中幸治：高大連携探求プロジェクトと高大接続型選抜試験の開発ー福井大学医学部看護学科の事例ー，大学入試研究ジャーナル，33，19-25，202304，DOI：10.57513/dncjournal.33.0_19

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

d. その他研究等実績（報告書を含む）

23048 北出順子：協同労働から学ぶ「看護職としての未来」と「人生への向き合い方」，協同の発見，374，17-22，202401

23049 四谷淳子：画像看護学-エコーが看護実践にもたらすもの-，日本看護評価学会誌，13(1)，42-45，202312

23050 北出順子：ひとりを大切にすることは、社会に存在する皆を大切にすること，協同の発見，366(5)，2-3，202305

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

23051 Hiromi Morioka, Akiyo Nakamoto, Megumi Kawaguchi, Midori Kawamura, Miho Katayama: Guidelines for After-Death Care in Japanese Nursing Education, 27th East Asia Forum of Nursing Scholars, 20240306

23052 Megumi Kawaguchi, Akiyo Nakamoto, Miho Katayama, Midori Kawamura, Hiromi Morioka: How Siblings of People with Schizophrenia Cope with Supporting Them as Their Parents Age: A Pilot Study, 16th International Family Nursing Conference, 20230621

23053 Megumi Kawaguchi, Takaharu Hirai: Effectiveness of a Support Program for the Parents of Patients with Schizophrenia Using a Saliva Stress Sensor: Single case study, 27th East Asia Forum of Nursing Scholars, 20240306

23054 Manami Niiyama, Ruiko Natsuume: Current status of professional employments for persons with juvenile dementia in Japan, IAGG-AOR2023, 20230614

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

23055 長谷川美香、北出順子、夏梅るい子、山本英子、幸光里美、中西悠、繁田祐果、山口友加里、柏谷美有紀：行政保健師の事業化技術を学ぶー行政・国保連合会・大学の協働による保健師教育ー，第63回全国国保地域医療学会，福井市，20231006，第63回全国国保地域医療学会抄録集，157，20231006

23056 徳原涼衡、三屋真衣、川村みゆき、藤田和恵、川口めぐみ：外来通院にて放射線治療を受ける女性乳がん患者の副作用が日常生活に与える影響，第54回日本看護学会学術集会(大阪)，20230929

23057 青木芳隆、四谷淳子：フレイル高齢者における下部尿路症状の治療と管理，第110回日本泌尿器科学会総会，202304

23058 Natsuki Hata, Miku Aoki, Junko Yotsuya: Influence of epidermal microclimate and support surface on skin maceration factors, 第23回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会，20230708

23059 平井孝治、梅田尚子、土屋賢治、西村倫子、松崎秀夫：臍帯血中エポキシドヒドロラーゼ活性の自閉スペクトラム症障がい特性への影響，第50回日本脳科学会，20231204

23060 Takaharu Hirai, Naoko Umeda, Kenji J. Tsuchiya, Noriko Nishimura, Hideo Matsuzaki: Cord blood epoxy fatty acid metabolism influences autistic symptoms in children, 第66回日本神経化学会・第66回日本神経病理学会 合同大会，20230706

23061 平井孝治、梅田尚子、土屋賢治、西村倫子、松崎秀夫：自閉症特性を予測する臍帯血中の多価不飽和脂肪酸代謝物，第11回日本D0HaD学会学術集会，20230804

23062 長谷川美香、北出順子、夏梅るい子、山本英子、幸光里美、中西悠、繁田祐果、山口友加里、柏谷美有紀：行政保健師の事業化技術を学ぶー行政・国保連合会・大学の協働による保健師教育ー，第63回全国国保地域医療学会，20231006

d. 一般講演（ポスター）

23063 川口めぐみ、片山美穂、川村みどり、森岡広美、中本明世：統合失調症をもつ人の既婚のきょうだいが同胞との付き合い方を見出すプロセス，第43回日本看護科学学会学術集会，20231210，日本看護科学学会学術集会講演集，789-790，20241210

23064 常俊千絵、長谷川美香：訪問看護利用期間が1ヶ月以内の終末期がん在宅療養者の在宅死希望実現と医療・療養者・介護者の状況との関連，第12回日本公衆衛生看護学会学術集会，北九州市，20240106，174，202312

23065 常俊千絵、長谷川美香：在宅死を希望した終末期がん在宅療養者の在宅死希望実現に関連する要因ー一死亡前1ヶ月以内に訪問看護を開始したがん在宅療養者に焦点を当てー，第28回日本在宅ケア学会学術集会，吹田市，20231111，第28回日本在宅ケア学会抄録集，248，202310

業績一覧

- 23066** 北出順子、柏谷美有紀：戦中期における保健婦の役割と人口政策，第63回全国国保地域医療学会，福井市，20230620，第63回全国国保地域医療学会抄録集，600，20231006
- 23067** 岡本智子、青木未来、四谷淳子：地域在住高齢者のサルコペニア予備群早期発見に向けた超音波検査による下肢筋肉の質評価の検討，第43回日本看護科学学会学術集会，20231210
- 23068** 加納恭子、四谷淳子、畑菜都希、青木未来：マイクロクライメット対応高機能エアマットレスにおける温度・湿度の評価，第25回日本褥瘡学会学術集会，20230901
- 23069** 畑菜都希、青木未来、四谷淳子：体圧分散マットレスの違いによるMicroclimateと皮膚浸軟状態への影響とその関連，第52回日本創傷治癒学会，20221120
- 23070** 内江希、谷口光代、波崎由美子、嶋雅代、四谷淳子：熟練助産師と初学者の分娩助技術における視線についての比較，第11回看護理工学会学術集会，20230610
- 23071** 梅田尚子、平井孝治、土屋賢治、松崎秀夫：臍帯血中のリノール酸とリノール酸ジオールは出生体重に影響する，第64回 日本児童青年精神医学会総会，20231114
- 23072** 平井孝治、梅田尚子、土屋賢治、西村倫子、松崎秀夫：自閉スペクトラム症の障がい特性を予測する臍帯血中の多価不飽和脂肪酸代謝物，第64回 日本児童青年精神医学会総会，20231114
- 23073** 堀拓也、青木未来、四谷淳子：離床センサーを使用している認知症高齢者に対応する看護師の行動と思い-急性期病院感染症病棟の夜勤帯に焦点をあてて-，第25回日本認知症ケア学会大会，20230603
- 23074** 宮嶋仁美、畑菜都希、青木未来、四谷淳子：精神科救急合併症病棟における褥瘡の形態的特徴と発生状況，第25回日本褥瘡学会学術集会，20230901
- 23075** 四谷淳子：褥瘡予防用具の安全使用のために ユーザーの立場から，第25回日本褥瘡学会学術集会，20230901
- 23076** 岡本智子、片寄亮、森野勝太郎、宮澤伊都子、卯木智、前川聡、藤田正弘、宮松直美、萩田美穂子：外来通院中の高齢者糖尿病患者のHbA1c値と10年間の総死亡との関連：SHIP研究，第66回日本糖尿病学会年次学術集会，20230511
- 23077** 常俊千絵、長谷川美香：在宅死を希望した終末期がん在宅療養者の在宅死希望実現に関連する要因 一死亡前1ヶ月以内に訪問看護を開始したがん在宅療養者に焦点を当てて，第28回日本在宅ケア学会学術集会，20231112

e. 一般講演

f. その他

- 23078** 畑菜都希、青木未来、四谷淳子：体圧分散マットレスの違いによるMicroclimateと皮膚生理機能との関係，第25回日本褥瘡学会学術集会，20230901

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

- 23079** 水江遥南、山北侑里、石田桃香、高岡優希、和田海成、青木未来、畑菜都希、四谷淳子：エアマットレスの違いがマイクロクライメットと皮膚生理機能に与える影響，第19回日本褥瘡学会中部地方学術集会，20240317

- 23080** 加納恭子、青木未来、四谷淳子：測定方法の違いによるへたり量への影響，第19回日本褥瘡学会中部地方学術集会，20240317

d. 一般講演（ポスター）

- 23081** 梅村朋弘、寺崎寛章、鈴木考太、長谷川美香：バングラデシュ南部デルタ地帯農村部の井戸水に関する調査，日本国際保健医療学会西日本地方会，高知市，20240302，20240302

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

- 23082** 平井孝治、梅田尚子、土屋賢治、西村倫子、松崎秀夫：自閉スペクトラム症の障がい特性を予測する臍帯血中脂肪酸代謝物，第17回自閉症学研究会，20230120

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科 研 費 ・ 研 究 助 成 金 等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
----	---------	-------	------	------	------	---------

業績一覧

区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	統合失調症をもつ人の家族レジリエンスを高めるための看護支援プログラムの効果検証	川口 めぐみ	北岡 和代, 平井 孝治, 長谷川 美香	20200401-20240331	¥780, 000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	自閉スペクトラム症児童の味覚特性が食行動異常に与える影響の検証	平井 孝治		20230401-20280331	¥1, 560, 000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	摂食障害の子どもをもつ親に対する簡易版心理教育の効果検証	平井 孝治		20190401-20240331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	エコーを用いた褥瘡の肉芽組織の客観的評価方法の確立と自動判別システムの構築	四谷 淳子		20190401-20240331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	マイクロクライメットを考慮した褥瘡予防用体圧分散マットレス選択基準の開発	四谷 淳子	田中 マキ子, 青木 未来, 熊谷 あゆ美	20230401-20260331	¥2, 990, 000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	大学生のデートDV予防と援助要請行動促進を一体化した教育プログラムの開発	長谷川 美香	米澤 洋美, 川口 めぐみ, 北出 順子	20200401-20240331	¥780, 000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	摂食障害の子どもをもつ親に対する簡易版心理教育の効果検証	平井 孝治		20190401-20240331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	エコーを用いた褥瘡の肉芽組織の客観的評価方法の確立と自動判別システムの構築	四谷 淳子		20190401-20240331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	マイクロクライメットを考慮した褥瘡予防用体圧分散マットレス選択基準の開発	四谷 淳子	田中 マキ子, 青木 未来, 熊谷 あゆ美	20230401-20260331	¥2, 990, 000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	光老化に着目した高齢者ドライスキン改善のための皮膚タイプ分類の確立	青木 未来		20210401-20250331	¥130, 000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	自閉スペクトラム症児童の味覚特性が食行動異常に与える影響の検証	平井 孝治		20230401-20280331	¥1, 560, 000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	大学生のデートDV予防と援助要請行動促進を一体化した教育プログラムの開発	長谷川 美香	米澤 洋美, 川口 めぐみ, 北出 順子	20200401-20240331	¥780, 000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	地域在住高齢者におけるサルコペニア肥満の超音波検査を用いた新たな診断指標の解明	岡本 智子	四谷 淳子, 萩田 美穂子, 北出 順子	20210401-20240331	¥780, 000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	統合失調症をもつ人の家族レジリエンスを高めるための看護支援プログラムの効果検証	川口 めぐみ	北岡 和代, 平井 孝治, 長谷川 美香	20200401-20240331	¥780, 000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	地域在住高齢者におけるサルコペニア肥満の超音波検査を用いた新たな診断指標の解明	岡本 智子	四谷 淳子, 萩田 美穂子, 北出 順子	20210401-20240331	¥780, 000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	光老化に着目した高齢者ドライスキン改善のための皮膚タイプ分類の確立	青木 未来		20210401-20250331	¥130, 000

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
共同研究	株式会社Medi-LX、株式会社永和システムマネジメント	医療用ビッグデータを活用した看護教育教材システムの開発における研究	四谷 淳子, 青木 未来, 北野 華奈恵, 川口 めぐみ, 清水 誉子, 内江 希, 五十嵐 行江, 諏訪 万恵, 大杉 拓矢, 伊藤 幸子, 山下 芳範, 清水 康弘, 田中 雅人, 上坂 秀樹	20240305-20250331	¥628, 800
共同研究	パラマウントベッド株式会社	要介護高齢者の床ずれ予防を目的とするマットレスの評価や検証、ならびに体圧分散マットレス用シーツの効果確認、マットレスのへたりに関する現場の状況及び計測方法の調査	四谷 淳子, 青木 未来, 畑 菜都希	20240104-20250331	¥1, 500, 000
共同研究	株式会社Medi-LX、株式会社永和システムマネジメント	医療用ビッグデータを活用した看護教育教材システムの開発における研究	四谷 淳子, 青木 未来, 北野 華奈恵, 川口 めぐみ, 清水 誉子, 内江 希, 五十嵐 行江, 諏訪 万恵, 大杉 拓矢, 伊藤 幸子, 山下 芳範, 清水 康弘, 田中 雅人, 上坂 秀樹	20240305-20250331	¥628, 800
共同研究	パラマウントベッド株式会社	要介護高齢者の床ずれ予防を目的とするマットレスの評価や検証、ならびに体圧分散マットレス用シーツの効果確認、マットレスのへたりに関する現場の状況及び計測方法の調査	四谷 淳子, 青木 未来, 畑 菜都希	20240104-20250331	¥1, 500, 000

業績一覧

共同研究	株式会社Medi-LX、株式会社永和システムマネジメント	医療用ビッグデータを活用した看護教育教材システムの開発における研究	四谷 淳子、青木 未来、北野 華奈恵、川口 めぐみ、清水 誉子、内江 希、五十嵐 行江、諏訪 万恵、大杉 拓矢、伊藤 幸子、山下 芳範、清水 康弘、田中 雅人、上坂 秀樹	20240305-20250331	¥628,800
共同研究	パラマウントベッド株式会社	要介護高齢者の床ずれ予防を目的とするマットレスの評価と検証、ならびに体圧分散マットレス用シーンの効果確認、マットレスのへたりに関する現場の状況及び計測方法の調査	四谷 淳子、青木 未来、畑 菜都希	20240104-20250331	¥1,500,000
共同研究	株式会社Medi-LX、株式会社永和システムマネジメント	医療用ビッグデータを活用した看護教育教材システムの開発における研究	四谷 淳子、青木 未来、北野 華奈恵、川口 めぐみ、清水 誉子、内江 希、五十嵐 行江、諏訪 万恵、大杉 拓矢、伊藤 幸子、山下 芳範、清水 康弘、田中 雅人、上坂 秀樹	20240305-20250331	¥628,800

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
受託研究	セーレン株式会社	セリシン定着製品の着用効果検証	四谷 淳子、長谷川 稔、山下 義裕、青木 未来	20230125-20240329	¥409,240
受託研究	国立研究開発法人科学技術振興機構	高齢者排便ケアへの活用を目的としたAIエコーシステムの開発	四谷 淳子	20221001-20250331	¥12,480,000
受託研究	セーレン株式会社	セリシン定着製品の着用効果検証	四谷 淳子、長谷川 稔、山下 義裕、青木 未来	20230125-20240329	¥409,240
受託研究	国立研究開発法人科学技術振興機構	高齢者排便ケアへの活用を目的としたAIエコーシステムの開発	四谷 淳子	20221001-20250331	¥12,480,000
受託研究	セーレン株式会社	セリシン定着製品の着用効果検証	四谷 淳子、長谷川 稔、山下 義裕、青木 未来	20230125-20240329	¥409,240

(B) 奨学寄附金

受入件数	6
受入金額	¥3,324,000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本看護科学学会	一般会員	長谷川 美香
日本看護科学学会	一般会員	岡本 智子
日本看護研究学会	一般会員	長谷川 美香
INTERNATIONAL COLLABORATION FOR COMMUNITY HEALTH NURSING RESEARCH	一般会員	長谷川 美香
日本公衆衛生看護学会	一般会員	長谷川 美香
日本家族看護学会	一般会員	長谷川 美香
日本在宅ケア学会	一般会員	長谷川 美香
American Public Health Association	一般会員	長谷川 美香
北陸公衆衛生学会	一般会員	長谷川 美香
日本看護医療学会	一般会員	長谷川 美香
日本公衆衛生学会	一般会員	米澤 洋美
日本公衆衛生看護学会	一般会員	米澤 洋美
日本地域看護学会	一般会員	長谷川 美香
日本地域看護学会	一般会員	北出 順子
日本ケアマネジメント学会	一般会員	北出 順子
日本高血圧学会	一般会員	北出 順子
日本健康心理学会	一般会員	北出 順子
日本保健医療社会学会	一般会員	北出 順子
日本循環器病予防学会	一般会員	北出 順子
北陸公衆衛生学会	一般会員	北出 順子
医学史研究会	一般会員	北出 順子
日本公衆衛生学会	一般会員	北出 順子
日本精神保健看護学会	一般会員	川口 めぐみ
日本精神科看護技術協会	一般会員	川口 めぐみ
日本精神障害者リハビリテーション学会	一般会員	川口 めぐみ
日本家族看護学会	一般会員	川口 めぐみ
日本看護研究学会	一般会員	川口 めぐみ
心理教育・家族教室ネットワーク	一般会員	川口 めぐみ
日本認知症ケア学会	一般会員	夏梅 るい子
北陸公衆衛生学会	一般会員	夏梅 るい子
医学史研究会	一般会員	夏梅 るい子
日本地域看護学会	一般会員	夏梅 るい子
日本公衆衛生看護学会	一般会員	夏梅 るい子
日本脳科学学会	一般会員	平井 孝治
心理教育・家族教室ネットワーク	一般会員	平井 孝治
日本看護科学学会	一般会員	平井 孝治

業績一覧

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	一般会員	青木 未来
日本創傷・オストミー・失禁管理学会	一般会員	青木 未来
日本香粧品学会	一般会員	青木 未来
日本認知症ケア学会	一般会員	青木 未来
日本看護技術学会	一般会員	青木 未来
看護実践学会	一般会員	青木 未来
国際リンパ浮腫フレームワークジャパン研究協議会	一般会員	青木 未来
日本褥瘡学会	一般会員	青木 未来
日本老年看護学会	一般会員	青木 未来
日本看護科学学会	一般会員	青木 未来
日本創傷治療学会	一般会員	青木 未来
看護理工学会	一般会員	青木 未来
日本疫学会	一般会員	岡本 智子
日本老年看護学会	一般会員	岡本 智子
看護理工学会	一般会員	岡本 智子
日本循環器病予防学会	一般会員	岡本 智子
日本糖尿病学会	一般会員	岡本 智子
日本サルコペニア・フレイル学会	一般会員	岡本 智子
看護実践学会	一般会員	四谷 淳子
日本超音波検査学会	一般会員	四谷 淳子
日本看護研究学会	一般会員	四谷 淳子
日本精神保健看護学会	一般会員	平井 孝治
日本児童青年精神医学会	一般会員	平井 孝治
日本看護研究学会近畿北陸地方会	世話人	川口 めぐみ
日本看護科学学会	代議員	四谷 淳子
日本褥瘡学会中部地方会	世話人	四谷 淳子
日本褥瘡学会	理事	四谷 淳子
日本DOHaD学会	一般会員	平井 孝治
日本神経化学学会	一般会員	平井 孝治
北陸公衆衛生学会	評議員	長谷川 美香
日本職業・災害医学学会	一般会員	長谷川 美香
日本看護実践学会	一般会員	長谷川 美香
日本地域看護学会	一般会員	長谷川 美香
日本保健科学学会	一般会員	長谷川 美香
日本公衆衛生学会	一般会員	長谷川 美香

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
一般講演 (ポスター)	第37回日本看護研究学会近畿・北陸地方会学術集会	川口 めぐみ
シンポジウム等	第18回日本褥瘡学会中部地方会学術集会	四谷 淳子
シンポジウム等	看護薬理学カンファレンス2023in東京	四谷 淳子
その他	第53回日本創傷治療学会	四谷 淳子
その他	第43回日本看護科学学会	四谷 淳子
シンポジウム等	第24回日本褥瘡学会学術集会	四谷 淳子
シンポジウム等	第19回日本褥瘡学会中部地方会学術集会	四谷 淳子
シンポジウム等	第3回便秘エコー研究	四谷 淳子
シンポジウム等	看護薬理学カンファレンス2023in東京	四谷 淳子
その他	第53回日本創傷治療学会	四谷 淳子
その他	第43回日本看護科学学会	四谷 淳子
シンポジウム等	第18回日本褥瘡学会中部地方会学術集会	四谷 淳子
シンポジウム等	第24回日本褥瘡学会学術集会	四谷 淳子
シンポジウム等	第19回日本褥瘡学会中部地方会学術集会	四谷 淳子
シンポジウム等	第3回便秘エコー研究	四谷 淳子
一般講演 (ポスター)	第37回日本看護研究学会近畿・北陸地方会学術集会	川口 めぐみ

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長(主査)・委員の別	氏名	査読編数
American Public Health Annual Meeting Abstract	査読		長谷川美香	5
日本地域看護学会誌	査読		長谷川美香	1
看護理工学会誌	査読	委員	四谷 淳子	5
看護理工学会誌	査読	委員	四谷 淳子	1
看護理工学会誌	査読	委員	青木 未来	3
日本公衆衛生看護学会誌	査読		長谷川美香	1
看護理工学会誌	査読	委員	青木 未来	3
看護理工学会誌	査読	委員	四谷 淳子	1
American Public Health Annual Meeting Abstract	査読		長谷川美香	5

業績一覧

日本公衆衛生看護学会誌	査読		長谷川美香	1
日本地域看護学会誌	査読		長谷川美香	1
看護理工学会誌	査読	委員	四谷 淳子	5

(E) その他
23083

大森純子、川崎千恵、中野久美子、田口敦子、北出順子：2022年度 優秀論文賞（一般社団法人 日本地域看護学会），原子力災害に備える保健活動に関するエスノグラフィー 原子力発電所立地地域の市町村保健師の内情の開示，20230902

23084
23085
23086
23087
23088

福井市民の健康増進 第3次計画へ案提出 市長に推進協議会（中日），20240215
健康増進計画案 福井市長に答申 推進協（県民），20240215
デートDV防止 55人対処法学ぶ 市講座で専門学校生（福井），20230706
デートDV理解を 恋愛女短大で講座 市企画（福井），20230530
「デートDV」について学ぶ（NHK），20230524

6. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関の名称等	委員会の名称等・役割	氏名	期間
地方自治体	福井県土木部都市計画課	福井県開発審査会委員		20240301-20260228
公益法人等	石川県立看護大学	能登半島地震被災地支援活動員		20240215-20240515
公益法人等	石川県立看護大学	能登半島地震被災地支援活動員		20240215-20240515
地方自治体	福井市障がい福祉課	福井市地域活動支援センター事業業務にかかる受託者選定委員会委員		20231107-20240331
公益法人等	福井厚生病院	苦情解決第三者委員会委員		20231101-20251031
地方自治体	福井県土木部建築住宅課	福井県建築審査会委員		20230822-20250821
地方自治体	福井県後期高齢者医療広域連合	アドバイザー		20230817-20240331
地方自治体	福井県健康福祉部保健予防課	指定管理者選定委員会委員		20230726-20270331
地方自治体	福井県土木部土木管理課	福井県事業認定審議会委員		20230723-20260722
地方自治体	福井県健康福祉部児童家庭課	「福井県配偶者暴力被害者等および困難な問題を抱える女性支援計画」策定委員会委員		20230623-20240331
地方自治体	坂井市健康福祉部健康増進課	坂井市健康なまちづくり推進協議会委員		20230509-20250331
地方自治体	福井市地域包括ケア推進課	福井市介護予防・生活支援サービス検討会議委員		20230508-20240331
地方自治体	大野市健康長寿課	認知症初期集中支援チーム検討委員会委員		20230410-20240331
地方自治体	福井市健康管理センター	福井市健康づくり推進協議会委員		20230401-20250331
地方自治体	大野市行政経営部総務課	大野市男女共同参画推進委員会委員		20230401-20250331
公益法人等	福井県看護協会	学会委員会委員		20230401-20240331

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
----	----------	----------	----

(B) 国際貢献

国際協力事業

活動名・活動内容	氏名	相手方機関名	役割	期間	活動国名
----------	----	--------	----	----	------

(C) その他業績

(D) 特記事項